

みゆき せら 深雪の村の 九尾の狐

プレイングマニュアル



シチュエーション

雪が深く積もる他人を避けるかのように存在する、ある村。その狭い村であるにも関わらず、いや狭い村だからこそ、常にこの村の住人は主導権争いを繰り返してきた。

そこにあるのは疑心暗鬼。

その果てに人成らざる物の怪までも利用するモノが現れた。

九つの尾を持つ狐の力を利用して自らの権勢を奮い、

しかし表では知らぬ顔で村に暮らす。

そしてそれを自らの力にせんと謀るモノも、その村には潜んでいる。

永い年月をかけ、人の想いは

降り積もる深雪のように、数層にも重なり合う。

他人を避けるかのように存在する村に、またいつもの冬がやってくる。



用語とカードの説明

表の顔：2枚の手札のうち公開したカード。**表**と表記。

裏の顔：2枚の手札のうち自分だけ見るカード。**裏**と表記。

村八分：最多得票者となり【裏の顔】を公開すること。

指名される：投票の時、1票以上自分に入った状態。

放出：得点計算後、2枚の手札のうち1枚を手放すこと。

年：1ラウンドを「年」と表現。次のラウンドは「次の年」となる。



①役職名 ②投票順

③**能力**：その役職を持つ特殊能力。能力が無い役職もある。

④**得点**：条件を満たすと記載されている得点(●は3点)を得る。**表**とある場合はそのカードを「表の顔」にした時、**裏**とある場合はそのカードを「裏の顔」にした時のみ得られる。**表裏**とある場合はどちらの場合でも得点できる。

⑤**物語**：ルールには直接影響しない。



ゲームの簡単な流れ

- 1人2枚ずつ役職カードを配布し手札にする。
- 手札のうち1枚を【表の顔】に、1枚を【裏の顔】にする。
- 議論を2分間行う。
- カードの投票順に投票し、最多得票者の【裏の顔】を公開させる(公開させることを【村八分】にすると表現する)。
- カードの状態はこのままに全員が得点を得る。この際必ず自分が何点得るのか宣言する。**7点以上を得た者がいたらゲームは終了となり、勝者を決定する。**
- 全員、2枚の手札のうち1枚を裏向きで放出し、全てを裏向きのままシャッフルして、再び1枚ずつ全員に配布する。
- 2からプレイする。



ゲームのポイント

- ①【九尾の狐】は【表の顔】にできず、【陰陽師】は【裏の顔】にできない。
- ②【村八分】にされなかった【裏の顔】カードは全て公開されないまま次の年に移行する。
- ③ただし得点は正直に宣言しなければならないので、宣言した得点数によって【裏の顔】が何だったのか推測できる。
- ④【表の顔】は全員公開されているので、次の年の【表の顔】を見て、何を残し、何を放出したのかの推理ができる。



ゲームの進め方(ルール)

1. 役職カードの配布

プレイ人数によって使用するカードと枚数が異なるので、下記に従いカードを抽出し、それを裏向きにシャッフルして1人2枚ずつ配布する。その2枚が手札となる。

- 4人
九尾の狐・陰陽師・獵師・雪女・山姥・村人×3
- 5人
九尾の狐・陰陽師・獵師・雪女・山姥・村人×5
- 6人
九尾の狐・陰陽師・獵師・雪女・山姥・狂人・村人×6
- 7人
九尾の狐・陰陽師・獵師・雪女・山姥・狂人×2・村人×7(全てのカード)

2. 【表の顔】と【裏の顔】の決定

自分の手札を自分だけ見て、そのうち1枚を【表の顔】にし、1枚を【裏の顔】にする。

全員【表の顔】にするカードを裏向きのまま前に出し、全員が前に出したら同時に表向きにして公開する。

3. 議論

2分間議論を行う。この議論では何を議論してもよい。嘘をついてもよいし、いわゆる「メタ発言」も許される。

議論のヒント

- 【村人】は自己申告も含めて全員の中で何人なのか。
- 【獵師】の能力の結果は何だったのか(【獵師】は、見たカードについて本当のことを言ってもいいし、嘘をついてもいい)。
- ただし【獵師】の目的は、【九尾の狐】を探すのが目的ではないことに注意。
- 前の年に【九尾の狐】を持っていたのは誰か。果たして本当に放出したのか。
- 現在の全員の得点に注意。【九尾の狐】を探すより、誰かを勝たせないことを考えた方が良いかも？

4. 村八分

全員の投票により誰を【村八分】にするか決める。投票は【表の顔】の投票順に行い、自分以外の誰かに1票投じる。まず役職カードの投票順①の【陰陽師】から投票する。【陰陽師】は、自分以外の1人の【表の顔】カードを指さす。指名された者は指で自分の得票数を表しておくことと良い。指名されたかどうかが重要になる役職もあるので票数を忘れないように。

【陰陽師】が終わると次に得票順②の【獵師】が投票を行い、以降投票順に投票を行う。もし次の順番がいなければ飛ばして次に進み、最後の【村人】まで投票を行う。

【狂人】や【村人】が複数人いる場合は、同じ役職同士で同時に投票を行う。

この結果、最多得票者が1人の場合、その者が今年の【村八分】となり、【裏の顔】を公開しなければならない。

もし最多得票者が複数人の場合、今年の【村八分】は無しとなる。誰もカードを公開しないまま次の「5. 得点」に進む。

5. 得点

得点は【陰陽師】から順に、時計回りで行う。下記ルールに従って点を得ていくこと。

得点方法

- 【表の顔】【裏の顔】の両方ともに公開・非公開に関わらず、記されている条件に合致すれば得点を得る。
例)【表の顔】【裏の顔】ともに【村人】の場合、【九尾の狐】が【村八分】にされていたら、1点+1点で合計2点を得る。
※むしろ【村八分】にされた者以外はカードを公開しないように注意。
- 【村八分】にされた者は-1点が付く。その上でカードの得点とを合計し、今年の得点とする。
- 得点は【陰陽師】から時計回りの順に、必ず1人ずつ得ていく。同時には行わないように。
- 何点得点したかを必ず全員が認識するよう宣言すること。ここだけは嘘をつけない。
- ただし、宣言が必要なのは得点した点数だけであり、途中の計算式まで宣言する必要は無い。
- その結果、持っている点が0点以下になってもマイナスにはならない。持ち点の最低点は0点となる。

①まず【陰陽師】から得点計算を始める

- もし【九尾の狐】が【村八分】になっていたら2点と、【裏の顔】による得点を合計した点を得る。
- もし【九尾の狐】が【村八分】になっていなかった場合、自分が指名した者の【裏の顔】を自分だけが見る。この時そのカードが何だったのかは宣言する必要は無い。見たカードが【九尾の狐】であれば1点と、違っていれば-1点と、【裏の顔】による得点を合計した点を得る。
- もし自分が指名した者が【村八分】になっており、それが【九尾の狐】ではなければ-1点と、【裏の顔】による得点を合計した点を得る。
- もし自分が【村八分】にされ、自分の【裏の顔】が【九尾の狐】なら-1点を得る(【表の顔】は得点なしのため)。それ以外なら【陰陽師】-1点+【村八分】-1点の計-2点と、【裏の顔】による得点を合計した点を得る。
例)【裏の顔】が【村人】なら計-2点。
【裏の顔】が【山姥】なら-2点+3点で計1点。

②次は時計回りの順で得点計算を行う

【陰陽師】の得点が終わったら、次に【陰陽師】を起点に時計回りの順で1人ずつ点を得ていく。

繰り返すがこの際【裏の顔】を公開する必要はないが、【村八分】の-1点を忘れず、そして得点宣言は必ず行うこと。

選択ルール

もし自分が何点か分からない場合は、自分のカードに限り公開しても構わない。次の年では多少不利になってしまうが、嘘を付いてしまうよりはマシと考えよう。

③7点以上になった者がいた場合

得点計算中に7点以上になった者がいたとしても、得点計算は全員が終わるまで行う。そしてこのゲームは終了し、勝者はその時に最も得点の多い者となる。今後しばらくはその者がこの村の裏の支配者となることだろう。

もし最も多い点数の者が複数人いる場合は、共に勝利であり、村はその者達の話し合いによる支配が行われるのだろう。

6. 次の年へ

勝者が決定していない場合、次の年に移る。

全員、手札を2枚とも自分だけが見る状態にし、どちらかを選んで裏向きで放出する。放出された全てのカードは、誰かが裏向きのままシャッフルした後に、1枚ずつ配布する。

【狛師】の能力について

- 【狛師】の能力は議論時間内に限り使うことができる。議論促進のためにも早めの使用をオススメする。
- カードを放出する際、【狛師】を持っていた者は、能力の使用の有無に関わらず、また【狛師】が【表の顔】【裏の顔】だったのかも関わらず、【雪女】が【村八分】になっていなければ、【狛師】のカードを必ず放出しなければならない。
もし【雪女】が【村八分】になっていたら、放出するかどうかは選択することができる。

7. 勝者が決るまでプレイを繰り返す

「2.【表の顔】と【裏の顔】の決定」から再びプレイを始め、誰かが7点以上を得点して勝者が決定するまで繰り返す。



得点例

【九尾の狐】が【村八分】になった場合

- 表【陰陽師】2・裏【村人】1=3点
- 表【狛師】0・裏【山姥】0=0点
- 表【陰陽師】得点なし・裏【九尾の狐】0・【村八分】-1=-1点

【雪女】が【村八分】になった場合

- 表【狛師】2・裏【雪女】0・【村八分】-1=1点
- 表【山姥】1・裏【狂人】0 or 1=1 or 2点

【山姥】が【村八分】になった場合

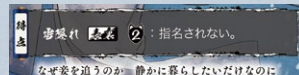
- 表【狂人】1・裏【山姥】3・【村八分】-1=3点
- 表【狂人】1・裏【九尾の狐】3=4点

自分が指名されなかった場合

- 表【雪女】2・【九尾の狐】3=5点

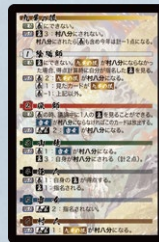
【村八分】になった者がいなかった場合

- 表【陰陽師】1 or -1・【九尾の狐】3=4 or 2点
- 表【狂人】0・【山姥】0=0点



- ▲【雪女】は【表の顔】でも【裏の顔】でも「指名されなければ2点」。

▶裏面は全カードの能力と得点を簡易的にまとめている。もし記述解釈に迷ったら表面の記述に従うこと。



ゲームデザイン あまおち総統 (@AHC_soutou)

イラスト アオガチョウ (@aogachou)

発行日 令和5年12月9日

発行 クリエイティブAHC

<https://ahcahc.com>

